

# 番組審議会

## 第657回

2022年2月21日

### ■ 審議会の構成

委員総数	10名
委員長	音 好 宏
副委員長	中 江 有 里
委 員	江 澤 佐知子 尾 縣 貢
	萱 野 稔 人 喜田村 洋 一
	佐 藤 智 恵 長 嶋 有
	藤 原 帰 一 水無田 気 流

TBSテレビ	佐々木 社 長
	渡 辺 常務取締役
	伊佐野 常務取締役
	岩 田 取締役
	瀬戸口 編成局長
	安 田 コンテンツ制作局長
	坂 本 コンテンツ制作局 バラエティ三部長
	井 上 コンテンツ制作局 バラエティ三部 プロデューサー
	中 田 編成考査局長
	村 田 編成考査局視聴者サービス部長
	天 野 番組審議会事務局長

### ■ 議事概要

#### 1. 審議事項

(1) 「バナナサンド」

1月25日(火) 19:00～20:57放送分

(2) その他

## 2. 事務局報告事項

(1) 視聴者からの声について

(2) 次回審議会の議題及び日程について

### 【委員の主な意見】

□総じて非常に見やすく、ゆったりした印象だが、吉川晃司さんのサプライズなど、いつもの「バナナサンド」とは少し違う。こういう形での新たな番組の展開の仕方をもっと開発することが出来るのではないかと感じる、良い番組だった。

□火曜の夜は、まだ週初めで、週末までも時間がある、これから頑張らなければいけない曜日に、バナナマンとサンドイッチマンの存在で、究極の癒やし番組になったのではないか。

□30年前、80年代の漫オブームでは、誰かを馬鹿にする度合いが相当酷かった。それが大分変わって、人を傷つけない笑いが定着している。今の若者のコミュニケーションを見ていると、そうした方向性を打ち出すのは好感が持てる。

□車中映像はコンテンツとしては強い。アメリカの人気番組 Carpool Karaoke を、是非参考にして欲しい。

□一つ一つの要素が過剰な部分がある。スタッフの意欲があつてこそ、こうした構成なのだと思うが、もう少し緩やかでも、視聴者は楽しむのではないか。

□ゲストの気持ちを爆上げさせて、その雰囲気を楽しむという番組コンセプトは、バナナマン・サンドイッチマンだからこそ可能だった。逆に言うと、若干メリハリがなかったようにも思う。

□夜7時から9時という時間帯で、家族で食事をしている気持ちを抱くという意図があったのかもしれないが、尺の長すぎる食シーンが多すぎた。

□タレントに運転させる、しゃべりながら運転する、脇見運転しないかなど、心配なところがあった。

□女性が出て来なくても良いのか、オジサン同士がキャッキヤしているだけで良いのかという意見も当然あると思うし、出演者の多様性が望ましいところではあるが、この番組に関しては、オール・オジサンで構わなかったと思った。

□バナナマン・サンドイッチマンのやりとりは、内輪受けと言われればそういう点もあるが、決して視聴者を置いてきぼりにさせない。やはりプロだなと感じた。

\* TBSでは番組審議会委員のご意見を真摯に受け止め、今後の番組内容の向上に活かしていく所存です。(TBSテレビ番組審議会事務局)